

## 【事例報告】

輸入籐製品から発生したヒメタケナガシンクイ *Dinoderus bifoveolatus* の追加記録

橋本 一浩\*, 川上 裕司

株式会社エフシージー総合研究所 環境科学研究室 〒135-0064 東京都江東区青海 1-1-20-6F

Report on the occurrences of *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON) (Coleoptera : Bostrichidae) from rattan baskets in Japan

Kazuhiro HASHIMOTO\* and Yuji KAWAKAMI

Laboratory of Environmental Science, FCG Research Institute, Inc.,  
1-1-20-6F Aomi, Koto-ku, Tokyo, 135-0064, Japan

## 摘 要

2016年9月および10月に一般住宅で使用されていた籐（ラタン）製のカゴ2個が昆虫に食害される事例があった。食害していた昆虫を調べたところ、いずれもヒメタケナガシンクイ *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON) (Bostrichidae: Dinoderinae) であると判明した。2製品はベトナムで同時に製造され、日本に輸入されていた。製造国で *D. bifoveolatus* に産卵された原材料がカゴに加工され、日本に輸入された後、消費者宅で成虫が発見されたものと推察する。

## Abstract

In September and October 2016, we observed 2 baskets made of rattan, having been used for general household purposes, suffering heavy boring damage. We identified the responsible insect as *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON) (Bostrichidae: Dinoderinae). The two infested rattan baskets were imported from Socialist Republic of Vietnam to Japan. These had been manufactured simultaneously in Vietnam. We speculated that after *D. bifoveolatus* oviposition on the raw materials in Vietnam, they were manufactured to baskets, transported to Japan, sold to consumers, and found infested as adult beetles emerged out.

**Key words:** ヒメタケナガシンクイ (*Dinoderus bifoveolatus*), 籐 (rattan), 侵入生物種 (invasive species)

## はじめに

ヒメタケナガシンクイ *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON) は、鞘翅目・ナガシンクイムシ科に属する体長2.5 mm前後の微少な甲虫で、籐（ラタン）・サゴヤシなどのヤシ材や各種広葉樹材を加害する（酒井，1995）。*D. bifoveolatus* は世界の熱帯、亜熱帯域に広く分布し、輸入家具と共に日本へ侵入することが報告されている（野淵，1986；川上・岩田，1993）。著者らは、輸入家具から発生した昆虫類の同定検査を時々依頼され、対応しているが、川上・岩田（1993）の報告以来、*D. bifoveolatus* を同定した事例は皆無であった。今回、籐製のカゴから発生した *D. bifoveolatus* に24年ぶりに遭遇したので、発生事例として追加報告する。

## 検査検体および同定方法

## 1. 製造・流通経路

食害された2個のカゴは、同一製品で籐を原材料としている。いずれも2016年7月11日～14日にベトナム社会主義共和国北部に位置する首都ハノイで製造された。直後の7月15日に輸出のため出港し、7月19日に日本へ到着した。7月25日まで東京都内の倉庫で保管されていた。その後、消費者が通信販売によって籐製カゴ2個を購入し、7月28日に福島県の消費者宅に到着した。

## 2. 食害被害と虫の発見

2016年9月16日、カゴ1個の周辺に木屑が落ちていることに不審を抱いた消費者が、カゴをよく観察したところ、昆虫によるものと思われる穿孔痕を複数発見した。2016年10月2日、もう1個のカゴ

\* Corresponding author: hashimoto@fcg-r.co.jp  
 受付：2016年11月4日 (Received : 4 November, 2016)  
 受理：2016年11月11日 (Accepted : 11 November, 2016)

でも、周辺に散らばる木屑と昆虫によるものと思われる穿孔痕、さらに甲虫の死骸1頭を発見した。消費者は販売元へ連絡し、籐製カゴは販売元に返品された。その後、販売元より当研究所へ原因究明の依頼が入り、10月13日に著者らの元へ製品が到着した。著者らが検品したところ、直径2 mm前後の穿孔痕を複数確認した(図1)。その際、製品に生きた状態で付着する甲虫1頭を発見し、捕獲した。

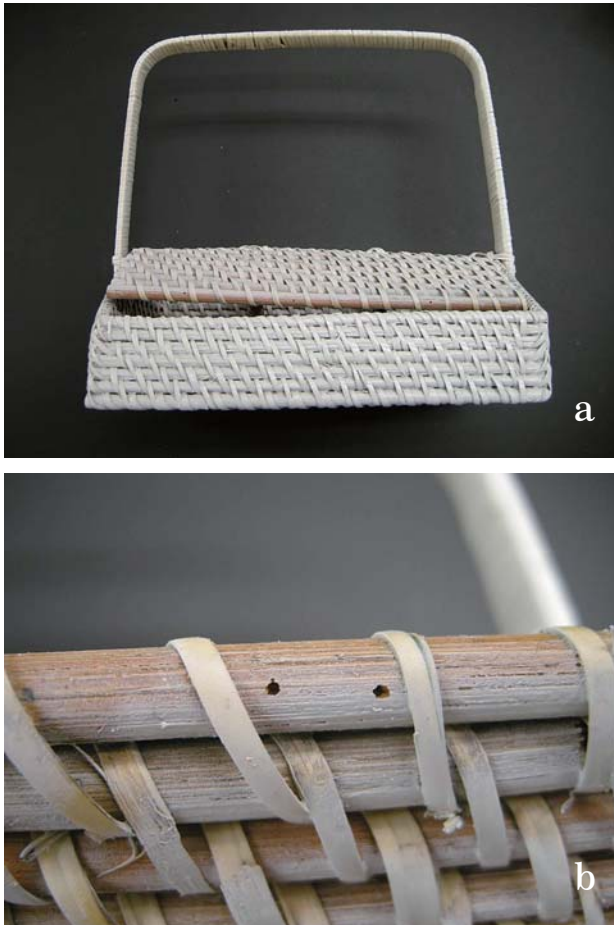


図1 ヒメタケナガシンクイが混入した籐製のカゴ  
a: カゴの全景  
b: 穿孔痕の様子

### 3. 同定法

捕獲した生存個体2頭と消費者から送られた死亡個体1頭の計3頭を実体顕微鏡下で観察した。野淵(1986; 1992)の報告に記載されたナガシンクイムシ科の検索表などに基づいて同定した。

### 結 果

検索表と照合した結果、3頭はいずれもヒメタケナガシンクイ *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON)の成虫と同定した。3頭の体長はいずれも2.5 mmで、上翅は暗赤褐色を呈し、点刻の内部は網目状で

あった。背面から観察すると、頭部は前胸部の下に隠れて見えず、前胸背前縁は凸弧状に丸まっていた。前胸背前縁の小歯状突起は13個で、中央の1対は離れず近接し、基部で連なる様子が確認できた(図2)。

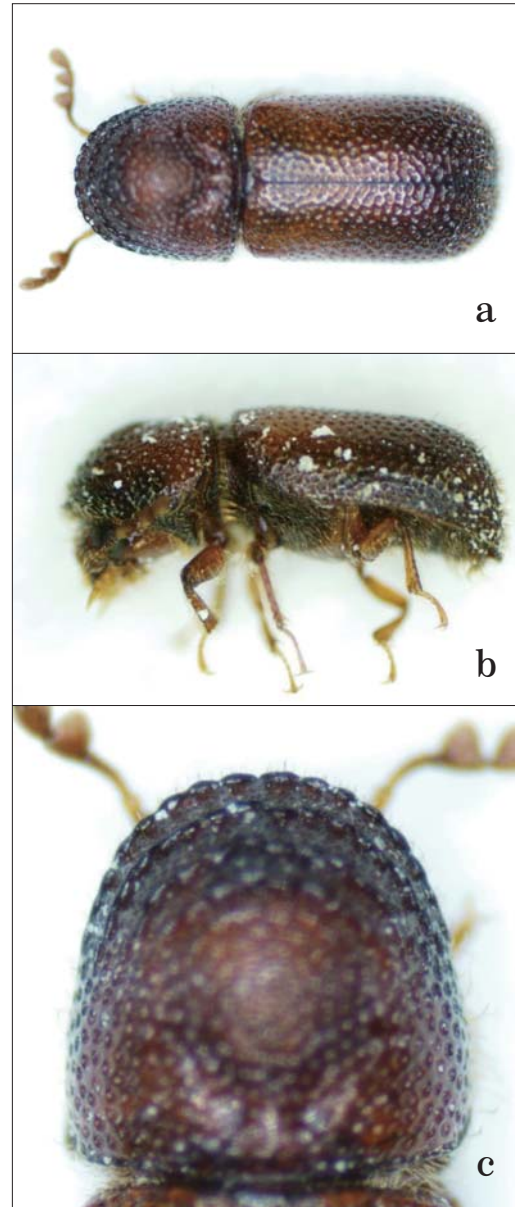


図2 捕獲されたヒメタケナガシンクイ  
*Dinoderus bifoveolatus*  
a: 背面(体長2.5 mm)  
b: 側面  
c: 前胸背を拡大

### 考 察

*D. bifoveolatus* は同じナガシンクイムシ科に属するチビタケナガシンクイ *Dinoderus minutus* に酷似するが、前胸背前縁の形状などで区別することができる。両種とも籐などヤシ材を加害するが、*D. bifoveolatus* は *D. minutus* と異なり、竹材を

加害することは無いとされる（酒井，1995）。籐以外では、シュロの葉・木質薄織物・ショウブの茎・広葉樹材・塊根類・乾燥果実などを加害する（Beeson and Bhatia, 1936）。日本で報告されている事例はいずれも籐への加害であり（野淵，1986；川上・岩田，1993），今回の製品も原材料は籐であった。*D. bifoveolatus* は日本国内での越冬は不可能とされており（酒井，1995），生産国ベトナムにて原材料の籐に混入したものが，そのまま日本に輸入され，消費者宅で成虫が発見されたと推察される。今回の2製品は同じロットで製造されており，同時に製造された他の製品にも混入が懸念された。なお，*Dinoderus* 属は成虫が木質を穿孔することもあるが，穿孔と産卵の関係については判っていない。

野淵（1986）は *D. bifoveolatus* の日本での定着の可能性を危惧したが，30年が経過した現在でも *D. bifoveolatus* が住宅建材や国産家具から発見されたという事例報告は見当たらない。本種が国内に定着していると記載された外来生物データベースがあるが（国立環境研究所，2016），国内に確実に定着していることを示唆する事例・情報はこれまでに確認できていない。

## 参考文献

- 1) Beeson, C.F.C. and Bhatia, B.M. (1936) On the biology of the Bostrychidae (Coleoptera). *Indian Forest Records (New Series) Entomology*. 12: 223–323.
- 2) 川上裕司・岩田隆太郎（1993）ヒメタケナガシクイ *Dinoderus bifoveolatus* (WOLLASTON) の国内における発生追加記録. *家屋害虫* 15: 17–20.
- 3) 国立環境研究所（2016）侵入生物データベース. [https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/resources/listja\\_coleoptera.html](https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/resources/listja_coleoptera.html)（2016年10月27日アクセス）
- 4) 野淵輝（1986）日本から初めて発見されたナガシクイムシ科2種. *木材保存* 12: 237–241.
- 5) 野淵輝（1992）家屋内で発見される木材害虫とその疑いのもたれる昆虫類 II. *木材保存* 18: 129–144.
- 6) 酒井雅博（1995）ナガシクイムシ. *家屋害虫事典*（日本家屋害虫学会編）. pp. 253–260. 井上書院，東京.